



2022年(令和4年)

8月

No.730 since1961

広報 しばた



目指すは 2025デフリンピック3冠

今年5月に行われた聴覚障がい者の国際スポーツ大会、デフリンピック男子100mで日本人初の金メダルを獲得した佐々木琢磨選手（仙台大学職員）。「2025年のデフリンピックで、100m、200m、4×100mリレー3冠の獲得」を次なる目標に掲げ、日々のトレーニングに励んでいます。

町長就任のあいさつ

柴田町の未来を切り開くための新たな都市像

「美しく元気で快適な

ガーデンシティ」を描く



柴田町長 滝口 茂

町長就任5期目を
振り返って

5期目となった4年間の町政運営においては、組織に緩みはないか、政策がマシナリ化したり実行のスピードが落ちていないか、さらに、町民の目線からズレた上からの目線での対応となっていないかなど、常に多選の弊害を念頭に置きながら「花のまち柴田」をテーマとした地方創生に果敢にチャレンジしてきました。

その結果、子どもたちの教育環境の整備では、学校、体育館、武道館、さらに校庭などのハード面での整備が一気に進み、また、ソフト面でもGIGAスクール構想による一人一台のパソコン整備などの教育のデジタル化にも積極的に取り組んだところでは、また、耐震化がなされていなかった役場庁舎も、保健センターと一緒にリニューアルを進めることができました。さらに、長年の懸案事項となっていた防災機能を備

えた総合体育館の建設に付きましては、公民連携に基き、民間手法による建物賃貸借方式での整備が決まり、令和6年9月末に完成する見込みとなっています。このような成果を踏まえ、このような成果を踏まえ、アフターコロナ時代における柴田町の未来を切り開くための新たな都市像を「美しく元気で快適なガーデンシティ」として描いていきたいと考えております。現在、令和5年度から令和8年度までの第6次柴田町総合計画後期基本計画の策定

に取り組んでいます。まずは、喫緊の課題であるコロナ禍や原油高、物価の高騰に苦しむ生活者や事業者への対策を最優先に、人口減少問題、少子高齢化や地球温暖化への対応策を講じてまいります。さらに、新たな時代の潮流となっているSDGsへの取り組みや、加速するデジタル社会やカーボンニュートラルなどの環境問題への対応を急ぐ計画づくりに努めたいと考えています。

美しく元気で快適な
ガーデンシティの
実現に向けて

新しい未来の都市像を実現していくためには、都市の基盤がしっかりしていなければなりません。まず、大きな被害をもたらした東日本大震災や令和元年台風19号などの教訓を生かし、防災減災対策に力を入れてまいります。7年間で約48億円を投入して整備を進めてきた鷺沼排水区5号調整

池につきましては令和5年度での完成を目指してまいります。局地的な冠水対策として、槻木上町、槻木白幡、松ヶ越、東船迫、西住地区などでの整備をおこなひ、安心安全なまちづくりに努めてまいります。

また、令和4年5月末に公表した柴田町都市計画マスタープラン・立地適正化計画においては、柴田町にふさわしいコンパクトなガーデンシティの実現に向けた都市構造を、槻木駅エリア、船岡駅エリア、船迫エリアに、新たな市街地の形成を目指す東船岡駅エリアを加えた4つのエリアと農村部をシームレスに結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」型としました。その軸として整備が急がれるのが、令和7年度の完成を目指す富沢16号線と新栄通り線の延伸です。

この4つのエリアに行政、商業、金融、文化施設が主となる都市機能、医療、福

祉、介護、スポーツ施設などの生活機能を集積させ、これまで以上に生活の利便性や快適性を高めるとともに、災害のリスクの少ない居心地の良いコンパクトで魅力的なまち並みを整備してまいります。そのリーディングプロジェクトとなるのが避難所機能を備えた総合体育館と新しい図書館の建設です。

現在、柴田町都市拠点（船岡）地区都市再生整備計画を策定し、国土交通省の都市構造再編集支援事業の採択を目指しています。採択されれば、事業費の50%の補助が受けられます。

この計画においては、船岡駅から仙台大学までの従来南北軸と、建設が決まった総合体育館エリアと再構築を目指す新図書館エリアを結ぶ東西軸がクロスする十字型の軸を骨格として、そのゾーン内にスポーツ、文化の交流施設などや、歩いて楽しい歩行空間やフラ

ワーロードを整備する中で人が集まり交流し、絆を深める魅力的な都市空間を形成してまいります。

特に都市再生整備計画においては、歴史文化の拠点であるしばたの郷土館、新しい知の拠点となる新図書館、そして観光拠点となっている船岡城址公園周辺を一体的に整備し、人々が自由に集まり交流する柴田町の新たな交流連携、そして絆づくりやまちづくり活動のシンボルゾーンとしてまいります。

こうした安全で快適なまちを舞台に、多様なアイデアをもつ人達が集まり、イベントやさまざまなまちづくりプロジェクトを展開していく中で、まちの魅力を高めてまいります。

まずは子どもから、若者、そして高齢者の方々が心身ともに健康で自分らしく社会参加や、まちづくりに関わることができるようにするために、1つに、若い人



たちが安心して子育てできるように結婚出産記念品の贈呈、槻木地区に民間の保育施設の新設や槻木放課後児童クラブの増設による待機児童の解消を図り、子育てに係る負担軽減を進めてまいります。

2つに、子どもたちの学ぼう力やたくましく育つ力の育成、さらに子どもたちの安全の確保に努めます。まず、学校施設の整備として、小・中学生用の机、約2,200台を新品に取り替えるとともに、遊具やオムニコート の整備、さらに、特別支援教育支援員を増員し、きめ細やかな教育ができるようにしてまいります。

また、子どもたちが安心して通学ができるよう、約3,000灯の防犯灯を一気に最先端のLEDに交換するとともに、交通や防犯上危険な箇所 の解消を図ります。

太陽の村には大型遊具を整備し、子どもたちの体力

づくりに努めてまいります。

3つに、お年寄りや障がいをもつ方が健康で安心して社会参加ができるようなまちにしてい く必要があります。そのためには、高齢者を中心とした交通弱者の移動手段の確保が重要になります。現在運行しているデマンド型乗合タクシー「はなみちゃんGO」の利便性の向上や、みやぎ県南中核病院などの通院者に対するタクシー利用券の助成などを検討し、交通弱者への支援を行います。

シティプロモーションによる財源の確保

柴田町が新たな都市像として提案するガーデンシティの実現を図っていくためには、政策の裏付けとなる新たな財源の確保がカギを握ります。

柴田町の財政は、急拡大する社会保障費や老朽化し

た施設の修繕費などの経常経費の増加によって、財政の硬直化が懸念されています。

今後、人口が減少していく中においては、税収の伸びは期待できなくなりますが、税収以外での財源を確保していく必要があります。

まずは、まちづくり推進のエンジンとなる地域産業の振興を図るために、生産性と収益性の高い農業を目指し、ほ場整備を急いでまいります。また、農産物や農村の資源を活用した特産品の開発、地元飲食店と連携した地元料理の提供、太陽の村周辺エリアでのサイクリングやウォーキングを地域の自然や文化に結びつけた中で、新たな里山ビジネスの創出に努めてまいります。

また、「雇用は最大の福祉なり」をモットーに、町内における雇用の創出を図ってまいります。



さらに、税収以外にも、ふるさと納税いわゆる「外貨」を稼ぐ必要があります。昨年度はシティプロモーションの一環として全国紙の東京版と大阪版に一面広告を掲載し、船岡城址公園の桜や白石川一目千本桜の花風景と、牛タン的美味さをアピールした結果、令和3年度のふるさと納税額は過去最高の約17億3千万円となりました。

その約半分を皆さんからお預かりしている税金にプラスして、学校整備や水害対策、さらに住民サービスなどの向上に充てることができました。

船岡城址公園への積極的な投資は税収以外の財源を確保し、ひいては住民の暮らしの向上を図るためなのです。

引き続き、船岡城址公園や太陽の村への戦略的投資やシティプロモーションの積極的な展開、町独自の政策提案による国の補助金な

どの獲得、新たなネーミングライツの獲得などによる民間資金の活用を図り、財源の確保に努めてまいります。

これからの4年間に向けて

6期目となる今後の4年間は、時代のターニングポイントを迎えた中での町政運営となります。リモートやテレワークといったデジタル社会の進展の中で、人と人がリアルにつながらない時代となっており、しかし一方で、人と人とのつながりや温もりを求める気運も生まれています。

柴田町はこの二つの流れを見据えて、より便利で快適な都市の器づくりに努めながら、人が集まり交流し、新しい文化を創造していく「クリエイティブなまち」の形成を目指してまいります。

そのためにも柴田町は、人と人をつなげる仕掛けづくりや結びつきを支える仕組みづくりができる自治体に、常に進化し続けていかなければなりません。また、職員も積極的にスキルを研ぎ、地域課題を解決できる「できる公務員」に育ててまいります。

最後に、私にとって6期目という未知なる旅が始まりますが、長き故の組織のおごりや歪み、政策のマンネリ化や陳腐化、さらにスピード感の無さを住民の皆さんから指摘されることのないようにしてまいります。また、これまでの考え方や経験に頼ったり、こだわったりすることなく、新しい柴田町の景色を作り出すために初心に戻り、新しい目を持って世の中を見据え、あえて今までのやり方とは違う戦略や取り組みに全力投球してまいります。

これからもよろしくお願ひいたします。





特集

まちを守る



私たちが安全安心に生活を送ることができているその裏で、その安全を支えている人たちがいます。

火災時には現場に駆け付けて消防士と共に消火活動を行い、自然災害発災時には地域防災の要となる消防団。悲惨な交通事故を未然に防ぐために、街頭に立ち歩行者の安全を確保する交通指導隊。防犯パトロールで町内の安全を見守っている防犯実動隊。

普段は別な仕事を持ちながら、いざというときには地域を守る大きな力となって活躍しています。

しかし、名前を聞いたことはあっても、実際にどのような活動をしているのか、知らない方も多いのではないのでしょうか。

今回は、それぞれの活動やその魅力、やりがいなどを、団員・隊員の方々からのインタビューを通して皆さんにご紹介します。

消防団とは

消防署に勤務する消防士は、火災、災害、救急救命のプロフェッショナルで、それを本職とする地方公務員ですが、消防団員は普段それぞれの仕事に就きながら、火災や災害が発生した時に出勤して、住民の避難や救助活動、復旧作業にあたる非常勤特別職の地方公務員になります。

消防団は、地域における消防・防災のリーダーとして、平常時、非常時を問わず、皆さんの暮らしの安全を守る重要な役割を担っています。

柴田町消防団DATA

(令和4年7月時点)

分団数 6
 団員数 268人
 (定員300人)
 うち女性消防団員4人
 平均年齢 51.9歳

消防団の活動

- 平常時の活動
- ・各種訓練(防災・水防訓練)
- ・防火防災の普及啓発
- ・防火パトロール
- 災害時の活動
- ・消火活動(延焼防止や消防士の後方支援など)
- ・大規模災害発生時の救助や避難誘導など



消防士の指導を受けての水槽の組み立て訓練。



有事の際に迅速な活動ができるように訓練を重ねています。



地域を守るのが消防団の使命

柴田町消防団
 団長 高橋 進一

消防団の活動は、消火活動に加え、近年の異常気象による台風やゲリラ豪雨、地震などの自然災害への対応など、活動内容が多様化してきました。

有事の際には誰よりも早く現場に駆け付け、住民の安全を守る役目を担う消防団ですが、昨今は団員のなり手不足が問題となつていきます。仕事の傍ら活動を行う消防団ですので、会社に勤めながら平日の訓練に参加するのが難しいこともあり、現在の社会情勢に合わせて消防団活動を改革していく必要があると感じています。

事業所の消防団活動への協力が、社会貢献として広く認められ、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実してきました。そのような事業所の協力をいただき、また、団員の待遇の見直しを図りながら若い団員の確保に繋げていければと思います。

一方で、住民の命や財産を消防団だけで守りきることはできません。皆さんには「自分の身は自分で守る」を前提に、私たち消防団も、消防署、自主防災組織、婦人防火クラブと連携して地域を守ってまいります。

私は大学に通いながら、消防団として活動しています。知り合いの女性消防団員の方に声を掛けてもらったことがきっかけで入団しました。元々、父が消防団に入っていました。どんな活動をしているのかあまりイメージがありませんでした。

初めての水防訓練では、男性の団員と一緒に土のう作りや水防工法の訓練をするのかと思っていました。女性団員は救護を任せられ、体力的に男性と同じ訓練をこなすことは難しくても、このような方法で貢献できるのだと感じました。

私は、消防団に入って、地域の人と関わる機会が増え、今まで以上に地域が好きになり、何か役に立ちたいという気持ちが強くなりました。この大好きな地域を守るために、今後は、防災士の資格取得や救命講習などを通じて身に付けた知識を、地域の防災力の向上のために役立てていきたいと思っています。

また、学生が消防団として活動すると、就職活動を支援する制度もあるので、ぜひ一緒に活躍してくれる若い団員が増えてくれると嬉しいです。



消防団でより地域が好きになる

柴田町消防団
 平間 美咲さん

交通指導隊とは

警察と連携しながら、町内の道路交通の安全を保持するために活動する非常勤特別職の地方公務員です。

特に、幹線道路が通り交通量が多い柴田町では、登校時の街頭指導による児童生徒の安全確保がとても重要な活動になっています。

しかし、近年、交通指導隊のなり手不足が深刻で、県内のほとんどの自治体において、隊員数が定員に満たないなど大きな問題となっています。柴田町では、令和元年度から定年後も再任用を可能とし、隊員の確保に努めています。

柴田町交通指導隊 DATA

(令和4年7月時点)

隊員数 20人
(定員35人)

平均年齢 60.9歳

交通指導隊の活動

- ・ 小学校の登校時間の街頭指導
- ・ 各種イベントや行事における交通誘導
- ・ 小学校での交通安全教室における指導
- ・ 交通安全に関する啓発活動



安全な自転車の乗り方を指導する交通安全教室。



街頭指導で児童の安全な通学をサポート。



街頭で子どもたちの健やかな成長を見守る

柴田町交通指導隊
隊長 加花かつ子

柴田町交通指導隊は、「子どもたちを悲惨な交通事故から守る」ことに重点を置き、6つの班が船岡、槻木に分かれて、登校時の交通指導を行っています。

また、交通安全教室では学校周辺の通学路を一緒に歩いて、横断歩道の渡り方や道路の危険箇所について指導するほか、自転車の正しい乗り方なども教えています。

幸い、最近町内で子どもが巻き込まれた交通死亡事故は発生していません。しかし、交通指導隊をやっていて感じるのは、「子どもは大人が思いもよらない行動をとることがある」ということです。私たちもそれを念頭に交通指導を行います。車を運転する際には皆さんにも、そのことを理解していただければと思います。

私自身、交通指導隊を18年続けてきましたが、子どもたちが日々成長する姿を、身近で見守ることができ、活動をやってきて良かったと感じています。

これからも、子どもたちの安全を守るための体制づくりに取り組み、また、交通指導隊を皆さんに知ってもらえるよう活動していきます。



子どもたちの命を守る大切な活動

柴田町交通指導隊
高橋由紀子 さん

以前から子どもを持つ親として通学路を見た時に、誰かが見守らなければ危険だと感じる場所がいくつかありました。そんな時に交通指導隊をやってみないかと声をかけていただき、子どもたちの見守りが必要だと感じていたこともあり入隊することにしました。

柴田町は幹線となる国道や県道が多く、比較的交通量が多い地域です。朝の時間帯はドライバーも時間に余裕が無いのかもしれませんが、歩行者がいても横断歩道で止まらない車両が多いと感じています。

また、街頭で交通指導をしても、友だちとの会話に夢中で周囲を見ていなかったり、危険な横断歩道の渡り方をする子どもたちが目に付きます。コロナ禍で小学校での交通安全教室に参加できず、通学ルートを指導する機会が少なくなった影響があるのかもしれない。

だからこそ子どもたちの安全を確保するため、街頭に立つ交通指導隊の活動がより重要になります。今後子どもたちが悲惨な交通事故に遭わないよう活動を続けていきたいと思っています。

防犯実動隊とは

防犯実動隊は、犯罪の無い安全で安心なまちづくりのために活動している非常勤特別職の地方公務員です。

犯罪を未然に防ぐことを目的に、夕方から夜間の防犯パトロールを主な任務としています。また、警察と連携しながら地域の防犯力の向上を図るため、防犯思想の普及活動も大きな役割の一つです。

しかし、交通指導隊と同様に防犯実動隊もなり手不足が大きな問題となっています。定年後も再任用として、現在の隊員が引き続き活動を行えるように条例を改正するなどの対策を講じています。

柴田町防犯実動隊 DATA (令和4年7月時点)

隊員数 12人(定員20人) 平均年齢 64.3歳

防犯実動隊の活動

- ・防犯パトロール
- ・幼児に対する防犯教室
- ・防犯診断



防犯パトロール車で町内を巡回。



安心して生活を送れるように

柴田町防犯実動隊
隊長 柳内 秀樹

「犯罪のない安全・安心なまち」を理念として、私たち防犯実動隊は活動しています。

犯罪発生率が高いとされる、薄暮時や夜間にパトロール車で町内の防犯パトロールを行い、犯罪抑止に努めています。

本来であれば、保育所や幼稚園での防犯教室、近年問題となっている特殊詐欺を防止するための啓発活動を行うところですが、コロナ禍によって、制限を受けている中での活動が続いています。

近年、町内でも以前では考えられないような恐ろしい事件が起きています。また、全国的にも子どもたちや高齢者が、犯罪に巻き込まれるケースが後を絶ちません。

実動隊は強い責任感と信念の下、そのような犯罪に町民の皆さんが巻き込まれることのないように、活動に取り組んでいます。しかし、隊員の高齢化や減少により将来的に継続が危ぶまれているのも事実です。

犯罪のない安全、安心なまちづくりには皆さんの力が必要不可欠です。一人一人が防犯に対する意識をしっかりと持ち、共に町の安全を守る仲間が一人でも増えてくれれば幸いです。

あなたの力が必要です 消防団・交通指導隊・防犯実動隊 随時募集

●消防団

対象／18歳以上で、町内に居住または勤務・通学する健康な方

報酬など／年額36,500円以上 災害従事1日8,000円(4時間以内は4,000円)

警戒・訓練・会議1回2,300円 退職報償金あり(勤続5年以上)

その他／学生消防団員には、消防団として社会貢献に努めたことを評価し、就職活動を支援する「学生消防団員活動認証制度」があり、町が活動証明書を交付します。

問い合わせ・申し込み／総務課 Tel.55-2111

●交通指導隊・防犯実動隊

活動日数／交通指導隊 週2回程度、防犯実動隊 月1回程度

対象／町内に住所を有する20歳以上70歳未満の方で運転免許証をお持ちの方

報酬など／年額36,500円以上 出動1回2,300円 選考方法／書類審査、面接

問い合わせ・申し込み／まちづくり政策課 Tel.54-2111

柴田町立地適正化計画の運用開始に伴い 一定の開発・建築行為などに事前の届け出が必要となります

柴田町立地適正化計画の運用に伴い、計画に定める拠点区域内外における誘導施設の整備および住宅の開発行為や建築などを行う場合、その30日前までに町に届け出が必要となります。

区域や申請などの詳細については、町ホームページまたは下記までお問い合わせください。

居住誘導区域外で届け出が必要な行為

- ・3戸以上の住宅を新築、または建築目的の開発行為
- ・1戸または2戸の住宅の建築目的の開発行為で、その規模が1,000㎡以上のもの
- ・用途を変更して3戸以上の住宅とする場合

都市機能誘導区域外で届け出が必要な行為

- ・誘導施設を有する建築物を新築、または建築物の開発行為を行う場合
- ・改築して誘導施設を有する建築物とする場合
- ・用途を変更して誘導施設を有する建築物とする場合

都市機能誘導区域内で届け出が必要な行為

- ・誘導施設を休止、または廃止しようとする場合

誘 導 施 設
病院（歯科医業は除く）
高齢者福祉施設
子育て支援施設
高等教育機関（大学）・図書館・文化施設・体育施設
店舗面積が1,000㎡超の小売店舗
金融機関、A T M
行政施設

問 都市建設課 Tel.55-2120

しばた歴史探訪

第17回 柴田家墓所

船岡にある大光寺。その本堂裏の墓地に向かう石段の中段を左手に進むと、柴田家の墓所があります。柴田家五代朝意（1671年、寛文事件で没）から現在に至る墓石が70mに渡り並んでいます。

朝意は没後、四保山東側の霊廟に葬られ、朝意神社として祀られてきましたが、明治時代の後期に他の神社とともに白鳥神社に統合されました。その際、朝意夫妻と併せて祀られていた子宗意夫妻の遺骨は大光寺に移されました。現在の朝意と宗意の供養碑と墓所は、40年ほど前に柴田家によって建立・改修されたものです。

柴田家墓所の最も東端に、朝意の実兄五十嵐藏人元成の供養碑があります。没年は寛文4年で、これが最も古いものです。尖頂方形墓石と呼ばれる形で、三角形の頭部をもち、本体上部には半円形の抉りを施し、長方形の体部は枠を残して浅く掘りくぼめ、法名や没年月日を刻んでいます。下部には蓮華文が施されています。この特徴を持った墓石は、江戸時代前期から関東地方を中心に広がったものです。しかし、柴田家墓所では、五十嵐藏人元成以降の墓石は扁平な自然石の墓石に変わっていきます。このように一族がひとつの墓石のかたちを踏襲するのは、それぞれ選ぶかたちこそ違え、伊達氏と有力家臣の一族に共通の傾向であるとされています。

ともあれ柴田家墓所は、江戸時代前期から現在までの350年の歳月が凝縮されている場所と言ってよいでしょう。



問 しばたの郷土館 Tel.55-10707



健康情報クリップ

なるほど!

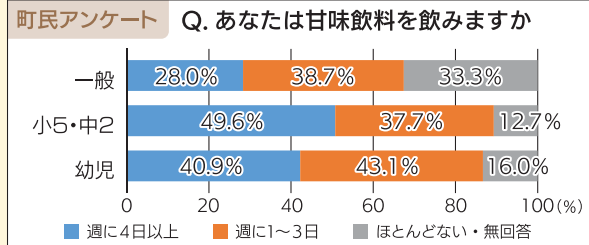
みんなの健康ライフ シリーズ93

第93回のテーマは、 「甘味飲料の上手な付き合い方」です。

冷たい飲み物がおいしい季節になりました。特に甘味飲料と呼ばれる炭酸飲料、スポーツドリンク、アイスコーヒー(加糖)などは暑いとよりおいしく

感じます。

町民アンケートでも、甘味飲料を日常的に飲む方が多いという結果が出ていますが、飲みすぎると高血糖や肥満につながるなど、体に悪影響をおよぼす場合があります。甘味飲料に含まれている糖分量を知り、飲み方を工夫することで、上手に付き合いましょう。

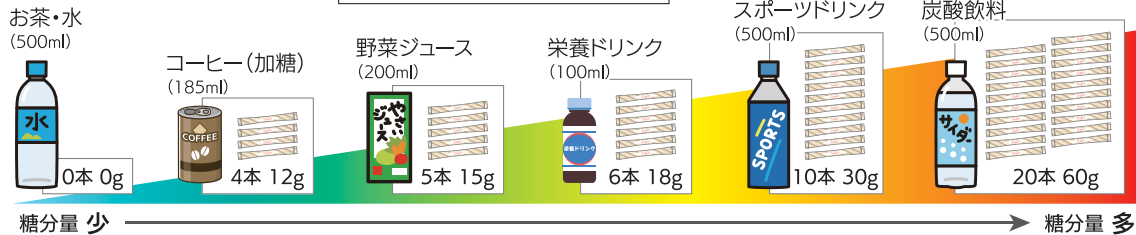


飲みすぎ注意 甘味飲料に含まれる糖分量

身近な飲み物にも、糖分が多く含まれているものがあります。世界保健機関(WHO)では、食事を含めた1日の糖類摂取量を、成人で25g程度に抑えることが望ましいとしています。また、血糖の上昇が少ないとされる人工甘味料を使用したカロリーオフ飲料でも、糖分への依存を引き起こす恐れがあります。

甘味飲料に含まれる糖分量

※スティックシュガー 1本 3g換算



甘味飲料を上手にとるポイント

- 甘味飲料は特別な日に楽しむ



- 微糖やカロリーオフのものを選ぶ



- コップに分けて飲みすぎを防ぐ



栄養士からのアドバイス

甘味飲料は、炭酸や爽やかな味付け、冷たさによって甘味が感じにくく、知らず知らずに糖分を摂り過ぎてしまいます。普段はなるべくお茶や水を飲むようにしたり、甘いものが飲みたくなったら微糖やカロリーオフを選ぶなど、甘味飲料の飲み過ぎに気を付けましょう。

図健康推進課 TEL55-2160

11 住み続けられるまちづくりを

私たちとSDGs 連載①

問まちづくり政策課 TEL54-2111

ゴール11. 住み続けられるまちづくりを

世界における自然災害の発生件数は、過去50年間で約5倍に増加しています。それに伴い元々住んでいた場所から避難や移住を強いられる人も増えています。

私たちが暮らす日本は、地震や台風などの自然災害が世界の中でも特に多い国とされています。災害に強いまちをつくるためには、一人一人が防災意識を持ち避難所や避難ルートの確認、防災グッズや備蓄用食料の確保など、日々の積み重ねがゴールの達成につながります。

まちかど NEWS



町特産の花きとして人気が高まっているトルコギキョウ。



大玉で甘い柴田産のタマネギ。

トルコギキョウ&タマネギの即売会

観光物産交流館さくらの里を会場に、トルコギキョウの即売会が6月24日(金)から26日(日)の3日間、柴田産のタマネギの即売会が25日(土)、26日(日)の2日間にそれぞれ行われました。

今回初めての試みとして行われたトルコギキョウとタマネギの即売会。市場価格より安く購入できるとあって、当初の終了予定前に売り切れとなり大好評でした。

次は9月中旬にポットマムの即売会が予定されています。

田んぼにはどんな生き物がすんでいるのかな

NEWS

7月1日(金)、柴田小学校で、学校の周辺に生息する生き物を調査し観察する田んぼの学校が行われました。

この取り組みは、大河原地方振興事務所が、生き物に触れる機会を通じて、地域の豊かな自然や田んぼの持つ役割を学んでもらうことを目的に開催しています。

岡崎蒼さん(4年生)は、「エビやオイカワなどを見つけてことができました。これからも、自然や生き物を大事にしていきたいと思いました」と話してくれました。



泥だらけになりながらも一生懸命生き物を捕まえました。

広 告

広 告

宮城三菱自動車販売(株)と災害協定締結



1台で一般家庭約12日分の電力を供給することができます。

7月1日(金)、宮城三菱自動車販売株式会社と「災害時等における電動車両及び給電装置の貸与に関する協力協定」を締結しました。

この協定は、災害時に宮城三菱自動車販売(株)が所有する電気自動車やPHEVを無償貸与いただくもので、避難所などの非常用電源としての活用が見込まれています。

千田茂穂代表取締役社長は、「不安な思いで避難されてくる方に、少しでも安心していただければと思います」と述べられました。

町 特産の柚子を使ったジェラート



仙台市の百貨店で販売されたジェラートはすぐに完売となりました。

7月6日(水)、柴田町太陽の村で、宮城大学の学生が考案した柚子ジェラートの完成発表会が行われました。このジェラートは、同大学の地域資源の活用を目的としたプロジェクトから生まれたもので、入間田地区農産加工組合「ぼぼの郷」が加工した柚子ペーストを使用し、丸森町のジェラート店が商品化しました。

「ぼぼの郷」の荒井けさ子さんは、「大学生の皆さん、地域企業が協力したからこそ美味しい商品になったと思います」と話してくれました。



大学生が中心となって投票を呼びかけました。

学 生が投票率アップを呼びかけ

7月9日(土)、第26回参議院議員通常選挙の投票日を前に、若者の選挙参加を推進するNPO法人ドットジェイピーのメンバーが、町内の商業施設の店頭で選挙の啓発活動を行いました。

この日に配布した選挙啓発ノベルティのパッケージをデザインした、同法人で活動する平間美咲さん(海老穴地区)は、「投票する権利があるのに投票しないのはもったいないことです。当選に繋がらなくても投じた一票は無駄じゃありません」と話してくれました。

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

雀の子屋根の瓦は真夏日の
暑さ堪え兼ね巢を転げ抜け
茶の間より暮れゆく空をみやるれば
亡き姉を今しみじみ思ふ
世界地図あらためて見る日本列島
いつもの日常続く事を祈り
何げない日常奪われ立ちつくす
十時切る老婆の深いしわ
点検は電力逼迫防ぐため
熱中症にも適正電力

梶木 平間 三郎
船岡 可沼 妙子
西船迫 下浦 智子
四日市場 鳥井崎
西船迫 安ヶ平良三

月桂樹ロウリツを小雨降る中剪定す
そこはかとなき香に酔いながら
雨上がり人影去れば角をだし
胴を露わにかたつむり這う
リヤカー前の人盛り夏野菜
丹精こめて高校園芸部
汗まみれ鏡の中の我が顔よ
まつ毛に乗っかる汗玉三つ
「工作」に集中してる孫の顔
完成間近か鼻歌が出る

船岡 つかのめけいこ
梶木 白石 光子
船岡 伊藤タイ子
西船迫 星 裕子
本船迫 森田 眞六

川柳

大丈夫？妻の一声背中を押す
始った梅雨入り終り短期間
電線は小鳥たちの指定席
逆算で植えたグラジオ盆に咲く

北船岡 日下 功
西船迫 安ヶ平良三
西船迫 後藤 文子
船岡 阿部美代子

紫陽花は雨がいちばん似合ってる
夕涼み川辺にすわりホテル追う
降って来た雨に蛙の大合唱

船岡 小林 夢子
梶木 永井 貞子
梶木 加藤 マサ

俳句

梅雨晴れて濡れた緑の美しく
病む姉の生命きゆるや青葉雨
暑き日々七夕飾り涼を呼ぶ
山里のさびれた宿と粟の花
魂鎮めウクライナへの朴散華
好好爺となりたる君や初浴衣
ラベンダーの香りの中の産湯かな
濃あぢさゐ小径暮れても暮れぬまま

梶木 平間 三郎
船岡 可沼 妙子
船岡 安藤 節子
西船迫 安ヶ平奈津枝
飛鳥
中野西範子
石垣テル子
制野 千秋

骸むくろみな仰臥きょうがの祈り蟬せみの果
柄の花羽州街道しずかなり
手鋏てばさで土手の草刈る男なり
紫蘇しそもむや母の仕草を思いつつ
鈴生りに枝垂れる梅をもてあます
起し絵のやうに戦いくさがまたしても
ポケットにひまはりの種戦地の子

遊佐 徹
山家美智子
三塚 直樹
及川美沙子
若月ノリ子
大久保和子
浪山 克彦

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで8月10日(水)まで応募ください。 圃 まちづくり政策課 Tel.54-2111

広 告

広 告

我が校の学力向上の取り組み

「分かった」、「できた」という達成感が、次の学習意欲につながっていく。東船岡小学校では、そのような学習を展開するために「進んで問題解決に取り組む児童の育成」を目指し、授業に取り組んでいます。

児童の良さを伸ばし、つまずきを改善するため、学力調査から得られた客観的なデータを授業に生かし学習内容の定着を図っています。また、家庭での学習の充実も必要と考え、家庭の協力のもと自ら学ぶ習慣を身につけ積極的に取り組むように、家庭学習の習慣化も進めています。

児童一人一人の学力向上を図る「学びタイム」・「ぐんぐんタイム」

毎週火、水、木曜日の朝15分間を、全校一斉「学びタイム」として、タブレットドリルなどを活用し、国語や算数の単元ごとの基礎的な問題に、児童がおのこのペースで学習に取り組んでいます。学習の活用力を高める土台として、短時間ですが児童が意欲的に学習する時間として大切にしています。また、11月からは、金曜日の最終授業時間に「ぐんぐんタイム」を設定し、児童一人一人のつまずきなどを把握し、少人数指導で個別の学力向上、学習内容の定着が図られるように対応していきます。

学びの意欲を高める家庭学習ノートコンクール

児童の家庭学習へのやる気を引き出すために、家庭学習ノートコンクールを毎月実施しています。自主学習の内容やまとめ方について、工夫のあるノートを職員室前にクラスごとに掲示し、「グッドノートブック賞」として表彰しています。

また、家庭学習の習慣化のために、各家庭に「家庭学習の手引き」を配布しています。内容は、家庭学習の仕方や時間の目安、保護者へのお願いなどです。

子供たちは表彰、掲示されることで、学習への意欲を高めています。また、表彰された友達のノートから自主学習のアイデアを得ています。



表彰された学習ノート

〔東船岡小学校長 岩谷 敏之〕

広 告

広 告

誰からも頼られる 人間になりたい

クラシタス株式会社仙南支店

小野 凌我^{りょうが}さん (24歳)

今回は、一般住宅などのリフォームの設計施工全般を手掛けるクラシタス(株)仙南支店の小野凌我さんを紹介します。



大学卒業後、新卒でクラシタス(株)に入社して3年目になる小野さん。元々、ものづくりが好きだったことや、家族が建築関係の仕事をしてきたこともあり、将来は建築の仕事に就くことを目標に、大学でも建築を学んできました。

リフォームを仕事として選んだのは、新築より多様な仕事ができそうだったからだと言います。

主な業務は、現場での施工管理ですが、営業以外の仕事は一通りこなしています。「お客さまと打合せを行い、リフォームのプラン作成、それを基に設計、資材の調達、職人さんの配置、工事中の施工管理とやるべき仕事は多いですが、完成後には仕事の結果が目で見えて分るので、達成感がありますね」。

仕事で苦労していることを伺うと、「既存の物を作り変える仕事のため、なかなかセオリー通りにいかないことです。いざ工事を始めるために床板を剥がしてみると基礎が朽ちていたり

想定外のことがあったりもします」と話します。

また、仕事をする上で大切にしていることは「お客さまの求めているものをしっかり把握したうえで、10年後、20年後の生活を見据え、プランを提案するようにしています。リフォームは大きな出費となるので頻繁にはできません。一度工事したらできるだけ長く使ってほしいですから」と話してくれました。

今後の目標については、「現在2級建築士の試験を受験していて、8月末に結果が分かります。将来的には一級建築士を取得し、できる仕事の幅を増やしていきたいです」と話してくれました。仕事に情熱を持って取り組む小野さんですが、大のサウナーで、仕事終わりの休日にはサウナで心身を「整えて」いるそうです。

これからも頑張ってください。



屋根の採寸を行う小野さん。



クラシタス株式会社仙南支店
柴田町西船迫1丁目6-42
TEL 87-7041

平成2年設立。(本社仙台市)平成23年に仙南支店を開設。一般住宅などのリフォームを手掛ける。従業員11人

人口と世帯数
(令和4年7月1日現在)



37,153人
(前月比32人減)



18,579人
(前月比24人減)



18,574人
(前月比8人減)



16,284世帯
(前月比7世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。